

これまでに急性巣状細菌性腎炎の治療を受けた患者さんへ 【過去の治療データの調査研究への使用のお願い】

那覇市立病院総合内科では「急性巣状細菌性腎炎（以下 AFBN）の診断におけるMRI DWIBS（ドゥイブス：全身MRI拡散強調画像検査）の有効性の検討」という臨床研究を行っております。この研究は、【AFBN患者さんにおいて、診断のためにどのような画像検査が行われたか、そしてDWIBSの有用性を評価すること】を主な目的としています。そのため、過去にAFBNを発症した患者さんのカルテ等の画像・治療等データを使用させていただきます。

以下の内容を確認してください。

- ① この調査研究は那覇市立病院倫理委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。

研究期間：2024年3月14日 ～ 2024年6月30日まで

対象調査期間：2013年1月1日 ～ 2022年12月31日まで

- ② 今回の調査研究の対象はこれまでにAFBNの治療を受けた患者さんのカルテ、MRI等です。具体的には病歴、治療歴、抗菌薬投与期間、などです。
- ③ 外部への情報の提供
データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。
- ④ 過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。
- ⑤ 使用するデータは個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。
- ⑥ 調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。

- ⑦ 研究体制

研究代表者：社会医療法人仁愛会浦添総合病院循環器内科

上原 裕規 （副院長兼循環器内科部長）

・本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、いつでも構いませんので、お手数ですが下記の連絡先まで連絡ください。その場合でも同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

地方独立行政法人那覇市立病院 総合内科 医長

当院研究責任者：湧川 朝雅 TEL：098-884-5111（代表）